



飯南町  
総合振興  
計画

# 第 1 章

地域を支える産業を創出するまち

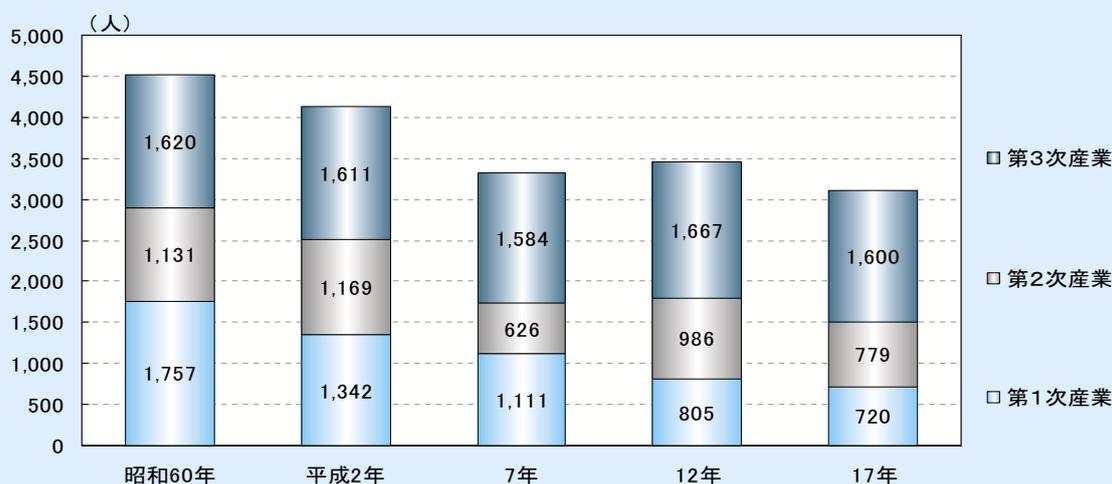
I I N A N T O W N M A S T E R P L A N

## 【基本施策】

# 1-1 里山の地域資源を活かした産業の創出

本町の里山の資源を活用し、「生命地域」の特性を活かした産業を創出します。  
 また、都市住民との交流機会を増やし、町の活性化を図ります。そのため、既存の交流を支える組織の充実強化や人材の育成を図ります。  
 さらに、地域コミュニティを活かした生活支援や環境の維持を目的とした生活支援システムの創出に努めます。

## ◆産業別人口の推移（国勢調査）



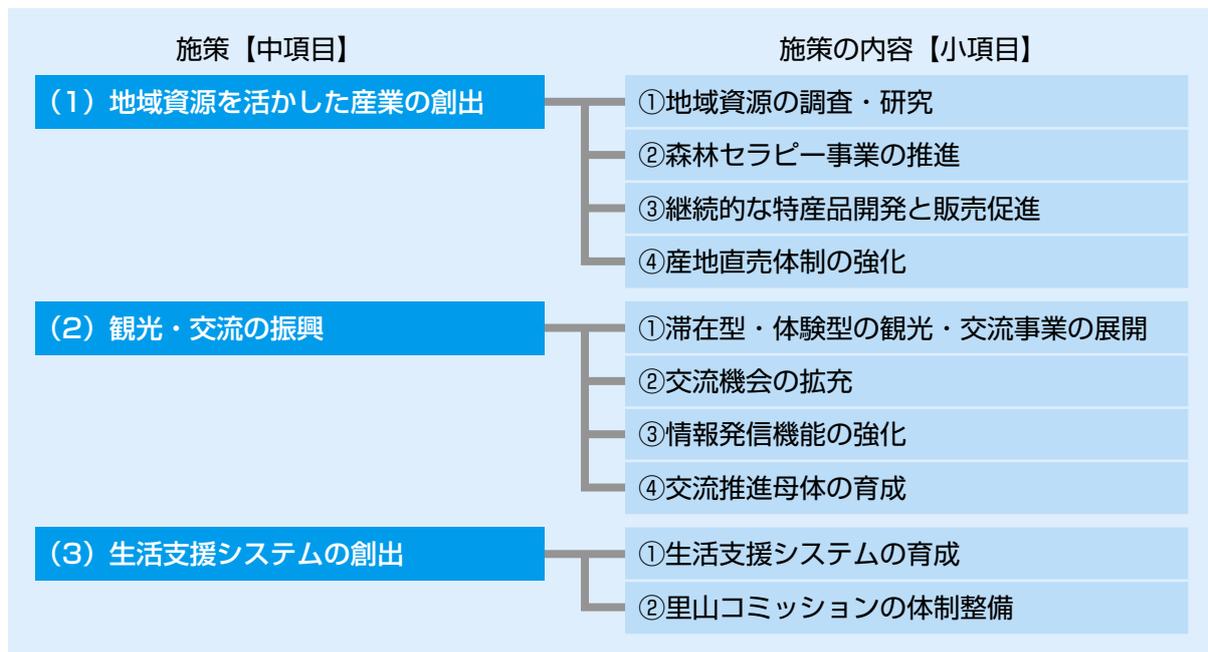
## ◆観光入込客数の推移（島根県観光動向調査）



※平成21年度より、集計地点として「うぐいす茶屋：45,206人、青空市ぶなの里：98,025人が追加されています。2施設を除く入込客数は257,315人。

## 施 策 体 系

## 1 地域を支える産業を創出するまちー 1 里山の地域資源を活かした産業の創出



## (1) 地域資源を活かした産業の創出

現	◆森林セラピー*事業では、県民の森の一部を「ふるさとの森*」としてリニューアルし、モニターツアーをはじめ、各種団体との調整、ガイド育成、セラピー料理の検討を進め、平成23年4月からの本格的始動に向けた体制づくりができました。
状	◆イノシシ肉の加工販売に関して、本町の要望により島根県で初の衛生管理ガイドライン*が策定され、地域の特産品として確立されました。
	◆特産品である米、やまといも、りんごについて、商品価値を高めるために加工品開発・PR販売に努めましたが、主産業としては確立していません。
	◆薬草木栽培やクマザサエキス販売は不十分であり、健康食品産業の育成までには至っていません。
課	◆地域資源を活かした本町の特色及び特産品の定着ができておらず、各地域で取り組まれたコミュニティビジネスも産業への進展が図られていません。本町の柱となる特産品の定着が急がれます。
題	
方	◆飯南町産業活性化ビジョン*を基軸に、「生命地域」飯南町としてのブランド化を目指します。
針	

## 施 策 の 内 容

## ①地域資源の調査・研究

- 6次産業\*化の確立を目指し、資源固有の活用方法について、調査・研究を行います。
- 地域資源を活用した、起業を支援します。

## ②森林セラピー事業の推進

- 森林セラピー\*事業と町内各集落、各種グループ、交流施設などと連携した推進体制を構築し、事業の産業化を推進します。
- 地元住民への啓発を強化し、代表的な地域資源の活用法として定着を図ります。
- 医師と連携し、森林セラピー\*の根本である医学的・科学的な根拠に基づくメディカルプログラム\*の構築を図り、リピーターの確保に努めます。
- 県外企業の福利厚生施設としての集客に努めます。
- メディア等を活用し、町内外へのPRを推進します。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
森林セラピー*による年間訪問者数	800 人	10,000 人
企業との福利厚生契約数	5 企業	10 企業

## ③継続的な特産品開発と販売促進

- 住民を巻き込んだ町全体での取り組みとして、特産品開発を推進します。
- 飯南米の販売促進ビジョンを明確にし、1級の特産品としての有利販売を目指します。
- 「効能」分析やストーリー性を持たせた特産品の開発を検討します。
- 各特産品の「作付面積・推進計画」を進め、「体制の確立」と「生産量増」に取り組むとともに品質の均一化（飯南ブランド化）を目指します。
- アンテナショップ\*を増設し、特産品などの販売促進につなげます。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
飯南町良質米の特別販売袋数	500 袋/年	2,000 袋/年
「やまといも」作付面積・生産量	1.56ha・7 t/年	5.5ha・33 t/年
アンテナショップ*の売上高	—	1 億円

## ④産地直売体制の強化

- 尾道松江線開通に備え、産直市の魅力づくりに努め、消費者との交流を促進し、リピーターの確保に努めます。
- 販売額増加を目指し、生産量の確保、会員の確保を図ります。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
町内産直市年間売上	128,757 千円	150,000 千円

## (2) 観光・交流の振興

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ぼたんまつり、ポピー・コスモス祭は、自然資源を活かしたイベントとして交流人口の増加につながりました。</li> <li>◆情報発信サイト*の構築によって、観光者へのレジャー・イベント情報を発信し、オリジナルCMの放送もあわせ、知名度を高めるPR活動を実施しました。</li> <li>◆姉妹都市・各出身者との交流、活動助成事業を行うとともに、「飯南町応援団*」を結成し、組織の育成を行いました。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町内での重複したイベントもあり、開催時期や実施体制の見直しが必要です。</li> <li>◆滞在型の観光においては、近隣自治体との広域的な取り組みが必要であり、更なる圏域での連携強化が求められています。</li> </ul>
方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆飯南町を訪れる人にとって、また、飯南町で暮らす人々にとっても魅力的な町づくりを行います。</li> <li>◆「生命地域」としての自然環境や、「神楽・囃子」など郷土伝統行事・文化、歴史遺産を地域資源と捉え、これらを観光資源として活かします。</li> </ul>

### 施策の内容

#### ①滞房型・体験型の観光・交流事業の展開

- クラインガルテン\*を活用し、都市住民との交流を深めます。
- 美しい自然・町並みを有する「飯南町らしさ」を活かした観光・交流の振興を図ります。
- 森林セラピー\*、温泉と食（郷土料理）が連携した観光・交流事業を展開します。

##### 《目標指標》

項 目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
町内温泉施設への年間入込客数	35,000 人	40,000 人
フラワーイベントによる年間入込客数	15,000 人	20,000 人

#### ②交流機会の拡充

- 地域の活性化、住民の元気づくりにつながるイベントを行います。
- 志津見ダムを掛け橋とした下流地域との交流に努めます。
- 雪を活かしたイベントにより、都市住民との交流を図ります。

##### 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
雪イベントによる年間入込客数	1,300 人	3,000 人

#### ③情報発信機能の強化

- 情報発信サイト\*「さとやまにあ\*」を通して飯南町を広くPRします。
- 地図情報などを活用した分かり易い飯南町の情報発信に努めます。
- 町の玄関として「道の駅」の機能強化や活用を推進します。

##### 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
HP「さとやまにあ*」アクセス数	220 件/日	500 件/日

## ④交流推進母体の育成

- 出身者会\*の在り方、存続について、組織統合も含め検討します。
- 「飯南町応援団\*」をはじめとし、飯南町ファンの獲得に努めるとともに、「飯南町応援団\*」の役割を明確にし、客観的視点からの飯南の魅力さをさらに広めていただき、ファン増員から交流人口拡大に努めます。
- 姉妹都市交流事業について、魅力的な交流事業を検討し、更なる発展を図ります。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
「飯南町応援団*」会員数	237人	650人
出身者会*等意見交換会の開催数	10回/年	10回/年

## (3) 生活支援システムの創出

現 状	◆生活支援システムの取り掛かりとして、平成21年度に住民の生活環境を支えるための新たなシステム構築に向けた地域を支える担い手・中間支援組織*のニーズ調査を行い、住民が必要としているサービス等の把握を行いました。
課 題	◆4つの重点プロジェクト（産業振興・交流定住・相互扶助・人材組織育成）を機能させるべく中間支援組織*（里山コミッション*）を設置する計画は、産業振興・交流定住について一定の成果はありましたが、それ以外の取り組みは不十分であり、運営母体の設立には至っていないため、早期の設置が望まれます。
方 針	◆住民が必要としている生活支援サービスの提供が行える仕組み・体制づくりを再構築します。

## 施 策 の 内 容

## ①生活支援システムの育成

- 買い物代行や雪かき支援など、生活支援システムの育成や起業を推進します。
- 収益につながる産業形態の構築は、早急には困難であることから、まずは、行政がバックアップする中で「地域まるごとサービス会社」のような組織を立ち上げます。
- 役場業務のアウトソーシング\*の可能性について検討を行います。

## ②里山コミッションの体制整備

- 地域を支える総合的な中間支援組織\*として、里山コミッション\*の法人としての体制整備を図ります。
- 高齢者等の日常生活の生活支援や地域力の維持を目的とした組織として体制を整えます。

※里山コミッション：P91 里山コミッションとは を参照して下さい

## 【基本施策】

# 1-2 安全安心な食材提供と農林業の活性化

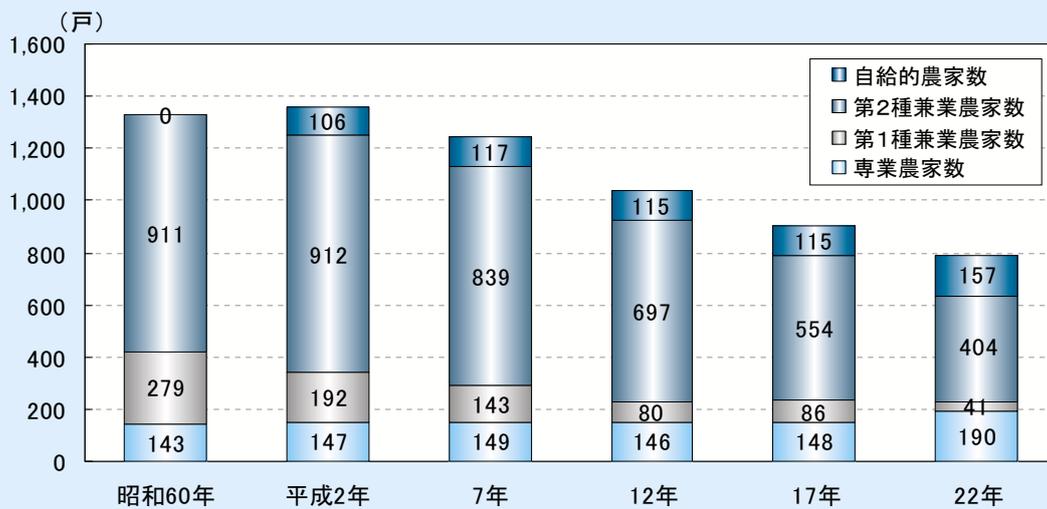
農村の営みは、自然環境をはじめとする多様な社会資本を持続することで、人間的、社会的、自然的な価値を守るといふ、大切な意味を持っています。

飯南町では、自然と共生し里山を維持していくために、生活の知恵が凝縮された生活文化をつくり出してきました。

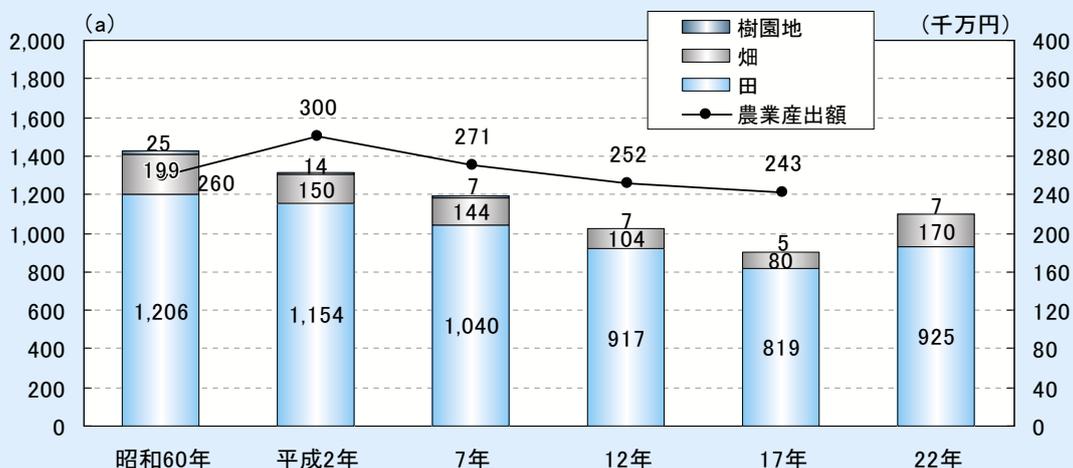
飯南町の気候風土を活かし、地域ぐるみで土づくりの推進や有機農業の導入を目指し、消費者ニーズに合った安全で高品質な農産物の生産を促進します。

また、農林業の生産基盤を確立するとともに、地域の特性を活かした循環型農業\*を推進し、生産性・収益性の高い農林業の振興を図ります。

## ◆専業・兼業別農家数の推移（農林業センサス）

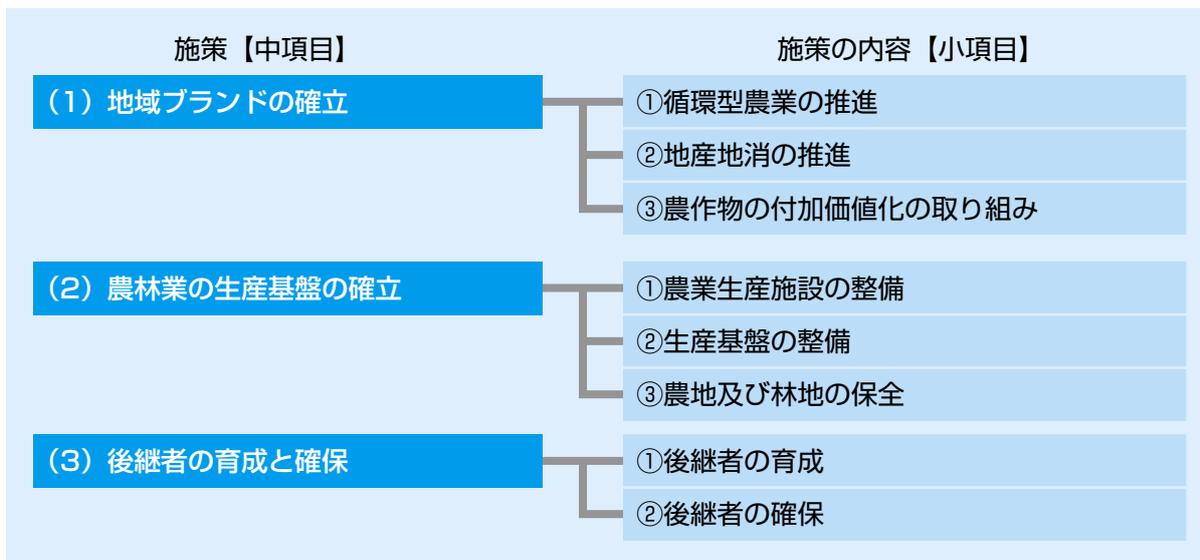


## ◆経営耕地面積及び農業産出額の推移（農林業センサス、生産農業所得統計）



施策体系

1 地域を支える産業を創出するまちー 2 安全安心な食材提供と農林業の活性化



(1) 地域ブランドの確立

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域ブランドとなる米を中心とした農作物について、水田農業ビジョンを作成し、米の計画的生産と大豆、そばをはじめとする振興作物の団地化を図りました。</li> <li>◆売れる米づくりについての方向性を検討するとともに、米に変わる農産物のブランド化に向け、果樹振興アドバイザー*、野菜振興アドバイザー*を設置しました。</li> <li>◆奥出雲和牛は同一地域内での繁殖・肥育生産体制が評価され、県外業者からの注文が順調に増加しています。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域全体での品質の確保、安定した数量の確保ができなければブランド化を進めることはできません。売れる米づくりの位置付けを明確にし、それに対する生産・販売方法を具体的に示す必要があります。</li> <li>◆消費者重視の安全安心な農作物の生産拡大が求められています。</li> <li>◆和牛生産頭数の拡大と優良な子牛生産のため能力の改良が必要となっています。</li> </ul>
方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農業者が希望を持てるよう、「環境」、「地域資源」をキーワードとする飯南ブランドの確立を図ります。</li> <li>◆循環型農業推進*による農業の付加価値化とあわせて、コスト縮減対策に努めます。</li> <li>◆農業後継者対策としてUターン者などの定住対策と連動した取り組みを進めます。</li> <li>◆能力の高い繁殖雌牛群の整備と耕畜連携による飼育コスト縮減対策に努めます。</li> </ul>



## 施策の内容

## ①循環型農業の推進

- 森林資源を活用したエネルギー利用、畜産堆肥を活用した農業の推進など、活用することによって、資源が循環・再生し、里山を保全・持続させる、循環型農業\*を推進します。
- 堆肥センター機能の充実強化を図るとともに、有機農業に関する学習機会の充実に取り組むなど、有機農業を推進します。
- 減化学肥料、減農薬による地球にやさしいエコ農業を推進し、エコ米の作付面積の拡大を図ります。
- 高能力牛の確保に向けた受精卵移植技術の活用などによる畜産振興を図るとともに、耕畜連携による資源の有効利用を図ります。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
エコ米の作付面積・生産比率	158 h a ・ 30%	400 h a ・ 80%
エコファーマー登録者数 (法人・個人)	10 法人 ・ 29 人	15 法人 ・ 100 人
和牛飼育農家数	76 戸	76 戸

## ②地産地消の推進

- 「食育推進計画\*」をはじめとする各種計画に基づき、学校給食、福祉施設及び町内飲食店等で使用する食材の地元産割合を高めます。
- 循環型農業\*の推進をもとに地産地消\*の仕組み及び体制整備に努めます。
- 食を通じての異世代交流を深めることで、食文化の継承を推進します。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
学校給食への地元食材の提供率	14%	20%
地産地消*に関する講習会の開催数	1 回/年	2 回/年

## ③農産物の付加価値化の取り組み

- 生産者・加工者との連携により、農産物の付加価値化に努めます。
- 農産物・農産加工品にカーボンフットプリント\* (炭素排出量表示) を積極的に取り入れます。
- GAP\*を推進し、輸入農産物に抗する安全安心な農産物生産に努めます。
- 転作が拡大される中で、大豆、そば、飼料用作物の作付けを進め、水田農業を確立します。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
カーボンフットプリント*調査農産物数	4 品目	8 品目

\*カーボンフットプリント調査農産物 (4品目) : 舞茸、やまといも、味噌、インゲン

## (2) 農林業の生産基盤の確立

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農業生産施設整備として集落営農法人等への導入補助を計画的に進めました。</li> <li>◆集落を単位とする基盤整備は概ね完了しました。</li> <li>◆林業に関しては、材としての需要が低迷しています。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農地及び林地の保全について、耕作放棄地対策等により一定の成果は上がっていますが、引き続き調査が必要です。</li> <li>◆農産物は品質的に評価を得ていますが、生産量が不足する状況にあります。</li> <li>◆中山間地域等直接支払事業、農地・水・環境保全向上対策事業については、農業者の高齢化等の課題があり、集落ぐるみの取り組み支援が必要です。</li> <li>◆木材の新たな活用方法を見出し、豊富な資源を有効的に経済繁栄させることが重要です。</li> </ul>
方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農林業の持つ多面的機能を活かします。</li> <li>◆生産規模拡大と農作業の効率化のため、限られた農地を効率的に活用します。</li> <li>◆通年栽培による所得向上型農業のシステム等を研究し、振興作物の整理と販路の確保に努めます。</li> <li>◆森林資源の新たな活用方法を見出し、新産業等に結び付ける循環型活用を加速化させ、経済的効果に反映させていきます。</li> </ul>

### 施策の内容

#### ①農業生産施設の整備

- 産直市等の拡大に向けて、引き続き必要な生産施設の整備を行います。
- 意欲ある新規就農者が取り組む大規模な生産施設に対して支援を行います。
- 野菜や果樹などの施設園芸について、消費者ニーズに呼応する振興作物を定め、生産拡大に向けた支援を行います。
- 低炭素型施設による舞茸生産など特用林産物の生産拡大を推進します。

#### 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
施設園芸ハウス面積	4.8ha	5.3ha

#### ②生産基盤の整備

- 農地・森林を保全するとともに、地域ブランドとなる農産物を育てる生産者の営農活動が維持・発展できる生産基盤を整えていきます。
- 循環型農法を取り入れ、土作りからはじめる品質重視の生産基盤整備に努めます。
- 農地集積等を図るため、地理情報システム\* (GIS) を活用した農家台帳を整備し、農地の有効的且つ効率的活用を努めます。
- 土地改良事業により生産基盤の整備に取り組みます。
- 担い手確保の観点からも、U I ターン者等の就農促進に向けた農地情報バンクを整備し、就農希望者への就農支援を行います。
- 中山間地域等直接支払制度等により、生産基盤の適切な管理を促進します。

#### 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
GIS 活用による農家台帳整備率	－%	100%
農地情報バンク整備率	－%	100%

### ③農地及び林地の保全

- 農地流動化事業等の活用により、耕作放棄地の解消に努めます。
- 農業者戸別所得補償制度に対応し、大豆、そばを戦略作物として推進します。
- 国土保全という大きな背景をおき、森林に関しては水源涵養機能\*の確保、農地においては耕作放棄地の防止に努め、里山保全を目的に人と野生動物の活動エリアの整備も行い鳥獣害対策にもつなげていきます。
- 町有林等の森林の適正な管理・活用を推進します。
- 公共建築物等における木材の利用促進に関する法律が施行されたことにより、木材利用を含めた森林の多面的機能を向上させ、林業の再生を図ります。

#### 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
耕作放棄地面積の拡大防止	5.2ha	2.0ha 以下

### (3) 後継者の育成と確保

現 状	◆新規就農者への就農資金及び農用地の貸付、農業後継者住宅の斡旋により、農業後継者対策を図りました。
課 題	◆農業生産だけでなく、集落機能の維持も考慮し、営農組織や農業法人、認定農業者等地域の実情に応じた経営体制の整備や多様な担い手の育成が必要です。
方 針	◆新規就農者への就農支援を引き続き行いながら、定住施策をはじめとした関連機関との連携により、後継者の育成及び確保を推進します。

#### 施 策 の 内 容

#### ①後継者の育成

- 定住施策と連携した新規就農者の育成・就農支援を行い、後継者の育成を推進します。
- 島根県中山間地域研究センター等と連携し、農業研修・学習の機会を設け、地域農業のリーダーや後継者の育成を図ります。

#### 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
新規就農者数	－人／年	2人／年
農林業定住研修制度*利用者数	1人／年	2人／年

#### ②後継者の確保

- 農地情報バンク制度\*を活用して、Uターン者等の就農を促進するなど、農林業定住研修制度\*等とも関連付けて定住対策の一環として推進します。

## 【基本施策】

# 1-3 地域に密着した商工業の活性化による雇用促進

住民の生活や地域経済を支え、地域の雇用を創出するために、地域に密着した商工業の経営基盤を強化し、商工業の活性化を図ります。

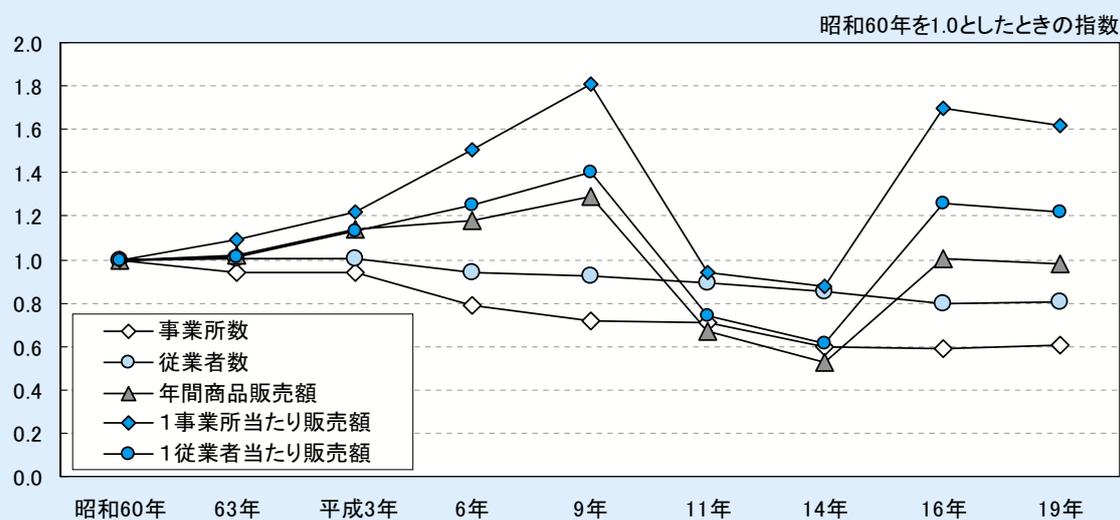
また、地域の産業を支える人材の育成と確保を図ります。

地域に根ざした商工業にするため、飯南高校、島根県中山間地域研究センターなど高等教育機関や研究機関とのネットワークにより、中山間地域の新たな産業の創出に結び付けます。

## ◆就業状況の推移（国勢調査）

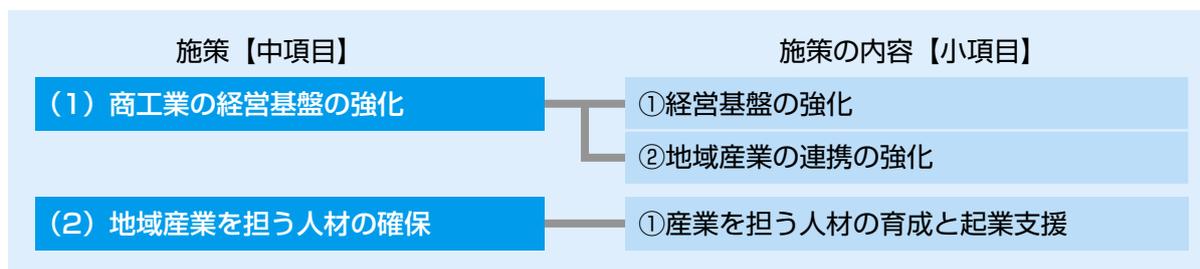


## ◆商業（小売）の状況の推移（商業統計調査）



## 施 策 体 系

## 1 地域を支える産業を創出するまちー 3 地域に密着した商工業の活性化による雇用促進



## (1) 商工業の経営基盤の強化

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商工会への指導・事務費の補助や経営者への融資信用保証料の助成等により、経営者団体の育成・活動支援を行いました。</li> <li>◆平成21年度には割増商品券発行支援事業として、プレミアム商品券*の販売を実施し、地元商店の利用促進を図りました。</li> <li>◆住宅リフォーム等助成事業*により、町内需要を起こす経済対策につなげました。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆尾道松江線開通による交通量減少、冬場の交通量減少の影響を受けて、外貨取得の低下が懸念されます。</li> <li>◆通年を通しての外貨獲得の施策・手法の構築が急務であり、町外への販売機会を増やす必要があります。</li> </ul>
方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆経営改善を促進するため、経営基盤の強化に努めます。</li> <li>◆地域内活性化と消費者の購買力向上を図る上で、各商店の自助努力と意識改革を促すよう、商工会と連携して、地域密着型の新産業創出に努めます。</li> </ul>

## 施 策 の 内 容

## ①経営基盤の強化

- 商工団体との連携により、経営改善や店舗改装などを促進するとともに、経営基盤強化を図るため、経営者団体の育成や活動を支援します。
- 商工会への指導や事務費の補助、経営者への融資信用保証料の助成等を行います。
- 商工会と連携して通信販売の普及促進を図ります。
- 住宅リフォーム等助成事業\*やプレミアム商品券\*発行事業など町内需要を掘り起こす事業に取り組みます。
- 「さとやまにあ商店\*」やアンテナショップ\*を活用して販路の拡大を図ります。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
インターネットによる通信販売利用商工会加盟店舗数	3 件	6 件

## ②地域産業の連携の強化

- 商工会と連携して、指導・支援とあわせ、やる気ある人材の発掘・育成に取り組みます。
- 近隣市町と連携して、地元企業の雇用の確保に努めます。
- 研究機関等と連携し、地域産業の育成を図ります。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
町内事業所への就職者数	15人/年	20人/年

## (2) 地域産業を担う人材の確保

現 状	◆町内事業所の新分野への進出に向けて技術や資格を取得するための「産業人材育成助成金*」制度を創設しましたが、有効に活用されていません。
課 題	◆「産業人材育成助成金*」制度を有効に活用し、産業を担う人材の育成をしていくことが必要です。
方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆将来の地域産業人材を育成します。</li> <li>◆起業を目指すUターン希望者の受け入れを促進します。</li> <li>◆地域を挙げて、全ての産業分野における人材不足解消と雇用創出に向け、既存企業の規模拡大や新たな企業誘致等に取り組みます。</li> <li>◆地域実態に即した産業分野別の人材育成のプログラムに取り組みます。</li> </ul>

## 施 策 の 内 容

## ①産業を担う人材の育成と起業支援

- 地域産業の担い手との対話の機会を増やし、やる気みなぎる人材の発掘を行います。
- 理想を現実に導かせる仕組みづくりを支援し、アクションを起こすことでのチャレンジ精神に磨きを掛け、研究機関等と連携し、地域産業の育成を図ります。
- 「産業人材育成助成金\*」制度の活用を推進し、人材育成に取り組みます。
- 「新産業創出支援事業補助金\*」制度の活用を推進し、新産業・新商品の創出に取り組みます。
- 地域としての戦略により、地域ぐるみで、企業誘致・人材誘導を積極的に推進します。
- ふるさと納税制度\*など、人材育成を目的とした財源を有効に活用し、地域産業の担い手や人材の育成を図ります。

## 《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
産業人材育成助成金*の申請件数	1件/年	3件/年
新産業創出支援事業*の申請件数	2件/年	10件/5年